

第7回 文化財保存科学研究発表会

～文化財保存科学を学ぶ学生の合同研究発表会～

2024年11月23日(土)

対面会場：東京藝術大学 美術学部中央棟 第1講義室 オンライン配信：zoom (参加無料・要申し込み)

プログラム 内容は変更の可能性があります。

10:00 - 10:10 開会の挨拶

10:10 - 11:55 東洋美術学校 保存修復科

10:10 - 10:15 研究室紹介

10:15 - 10:30 「紙資料に対するジェランガムゲルを用いた処置に関する基礎研究
-ゲル濃度との関係について」

学部4年 古谷 未緒

10:30 - 10:55 「染色品保存修復トレーニング用教材『黒地蝶八重桜模様ビロード帯裂』の
安定・安全な保存・活用を目的とした修復処置とマウント制作」

学部4年 CHIH LING LEE
大内 那緒

10:55 - 11:00 休憩 (5分)

11:00 - 12:25 東京学芸大学 教育支援課程生涯学習コース 文化財科学研究室・保存科学研究室

11:00 - 11:05 研究室紹介

11:05 - 11:20 「明治期の図画教科書における石版印刷の利用」

修士2年 近藤 花子

11:20 - 11:35 「伝統工芸品産業の現状と流通課題」

学部4年 菊池 耕

11:35 - 11:40 休憩 (5分)

11:40 - 11:55 「民藝運動が琉球漆芸にもたらした影響に関する考察」

学部4年 城戸 ひより

11:55 - 12:10 「織り技術を中心とした川越唐棧の研究」

学部4年 関根 遥

12:10 - 12:25 「木造建造物に求められる保存修理の原則 -日野宿本陣の事例から-」

学部4年 田中 里美

12:30 - 14:00 懇親会 (90分)

14:00 - 14:35 筑波大学大学院 人間総合科学研究群世界遺産学 保存科学

14:00 - 14:05 研究室紹介

14:05 - 14:20 「水損紙資料に発生した糸状菌に対する l-Menthol 結晶を用いた
発育阻止法の検討」

修士2年 岸 創哉

14:20 - 14:35 「歴史的建造物における障壁画の代替品としての高精細複製の利用」

修士2年 岩瀬 月楓

14:35 - 14:40 休憩 (5分)

14:40 - 15:50 東京藝術大学大学院 美術研究科文化財保存学専攻 保存科学研究室・システム保存学研究室

14:40 - 14:45 研究室紹介

14:45 - 15:00 「顔料として使用された雲母に関する研究」

修士2年 上松 春菜

15:00 - 15:15 「展示環境から放散されるガス状還元性硫黄化合物について」

修士2年 手島 菜摘

15:15 - 15:20 休憩 (5分)

15:20 - 15:35 「海水損紙資料に出現したカビ由来の赤色素の再現と
そのクリーニング法の検討」

修士2年 仁木 真奈美

15:35 - 15:50 「有機溶媒高含有ゲルを利用した文化財クリーニング方法の検討」

修士2年 秋山 花子

15:50 - 16:00 閉会の挨拶

《参加方法》

事前に以下の URL よりご登録ください。事前登録締め切りが異なるため、ご注意ください。

<https://forms.gle/Bf2Jbbss7UtPLthC6>

対面参加・懇親会 (締め切り：2024年11月5日(火)17:00)

オンライン参加 (締め切り：2024年11月21日(木)17:00)

懇親会 (有料) のご案内

会場では、軽食、お飲み物をご用意しております。

また、各研究室の学生による、学会ポスターや研究テーマ紹介の展示を行う予定です。

会場：東京藝術大学 美術学部食堂 「藝大食楽部」

懇親会費：一般 2000円、学生 1500円 (当日現金払い)



参加申し込み
フォーム



お問合せ：東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻 保存科学研究室 cslshare@ml.geidai.ac.jp

幹事：関根 遥 (東京学芸大)、中野 実歩 (筑波大)、千徳 佐和子 (東京藝大)、ウェーバー・ユリア (東京藝大) 古谷 美緒 (東洋美術学校)